

IND-2514-1809

パワーフラッシュ

フラッシング助剤

長期間使用された油圧設備やタービン設備などの配管内部は、オイル劣化物や外部から混入した異物で汚れていることが多く、オイル交換時にこれを十分に除去しないと、バルブの作動不良やフィルター目詰まりを起こすことがあります。パワーフラッシュは、油圧設備やタービン設備等の配管内部をフラッシングする際に、より効率的な作業を可能とするために開発されたフラッシング助剤です。

●特長

フラッシング効果を高めます

パワーフラッシュは、配管内に堆積するオイル劣化物やその他の有機物質などを油中に溶解、分散させる能力が高く、フラッシング効果を高めます。

●用途

フラッシング時にフラッシング油中に添加します。

●使い方

① フラッシングに使用する油量に対し、パワーフラッシュを1%添加し、1~2ヶ月程度循環させる方法が最適です。

② 油交換が予定されている1~2ヶ月前に、運転中の設備にパワーフラッシュを加える方法もあります。

③ パワーフラッシュを多量（2%以上）に添加しても、また2ヶ月以上使用しても効果は変わりません。

④ 配管内が汚れている場合、パワーフラッシュが汚れを溶解してくれるため、パワーフラッシュを添加したフラッシング油は通常黒褐色に変色します。

⑤ 設備内部の洗浄度をさらに向上させるためには、パワーフラッシュを用いたフラッシング作業の後に、使用油（新油）でもう一度フラッシングすることをお勧めします。

●注意(パワーフラッシュの残存について)

パワーフラッシュは、鉱物油系の弊社油圧作動油やタービン油に使用される各種添加剤と化学反応することはありませんので、設備内に多少残存しても、実用上の問題はありません。

しかし、大量に残存した場合は、使用油の性状が変化する可能性がありますので、残油を極力少なくすることは重要です。

●荷姿

20Lペール缶

●パワーフラッシュの代表性状

外観		淡黄色液体
色 (ASTM)		L0.5
密度 (15°C)	g/cm ³	0.849
動粘度 (40°C)	mm ² /s	56.0
引火点 (PM)	°C	64
流動点	°C	-12.5
酸価	mgKOH/g	0.01
消防法危険物分類		第2石油類

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変わる場合があります。
(2018年9月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	混合物（石油系炭化水素、n-パラフィン、重質石油ナフサ）
絵表示：	
注意喚起語：	警告
危険有害性情報：	可燃性液体 皮膚刺激 水生生物に有害 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none">・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。・眼に入れないこと。飲み込まないこと。・熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。・環境への放出を避けること。・容器を接地すること／アースをとること。・取り扱い後はよく手を洗うこと。・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。・眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。・火災の場合：消火するために有効な消火剤を使用すること。
保管	<ul style="list-style-type: none">・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。・一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。
廃棄	<ul style="list-style-type: none">・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。・不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。